



帯西の力を発揮した小学校授業研究会

今日は昨日お知らせした通り熊本市小学校授業研究会の授業が公開されました。熊本市の先生たちが本校に集い、道徳科と学級活動の授業を参観し、その後の授業の協議まで行い、本校の研究の一端を紹介することができました。授業の様子を紹介します。

3年2組の道徳科では、教科書の中の「たっきゅうは四人まで」というお話から「友情」について学ぶ授業でした。

今回の授業のねらいは、「友達を互いに理解し、信頼しようとする心情を育てる」というものです。今回の授業は「帯西グリーン」の心「友情を信じて助け合う」に向かって子供たちの心を耕しながら、役割演技を通して、発した言葉の背景にある気持ちに気付かせてねらい迫っていきました。子供たちは、友達を大切にするためには、「いっぱい遊んで友達のことを知る。」「間違えちゃったときは、正直に明るい心を出す。」「相手を見て、明るい声で話しかける。」など活発な意見を出し合い、一人一人が自分事として考え、子供たちの多様な考えの中から「友達を大切にするために大事なことってなんだろう」というめあてに対する答えを考えていきました。



2年3組の学級活動では、「もっとにこにこなかよく集会をしよう」という学級会でした。1学期の「にこにこなかよく」をさらにパワーアップした集会活動にするために話し合いました。

司会グループの子供たちが、事前に遊びを原案として絞り込み、その中から、提案理由にある「もっとにこにこなかよく」を意識しながら、どの遊びがふさわしいか意見を比べ合っていました。「ぼくは『宝探し』がいいと思います。わけは、友達と助け合って見つけれたらにこにこになれるし、班で協力したらもっと仲よくなれるので、グリーンの心が伸びると思うからです。」「わたしは『たずね人』がいいと思います。友達がこんなことができるんだなど、新しいことを知れるからもっと『にこにこなかよく』になれると思うからです。」と活発な意見を出し合い、どのような集会にするか決めることができ、真剣な話し合いとなりました。



授業後に、授業研究会があり、本校の道徳教育への取組や、子供たちの自分事として意見を出し合う姿、また学校の雰囲気など熊本市の多くの先生方からお褒めの言葉を頂きました。授業者の先生方の努力、本校職員の日頃の頑張り、また子供たちの成長した姿など多くの成果を実感できた一日でした。